



審査委員長

**茅 陽一**

東京大学名誉教授  
財団法人地球環境産業技術研究機構副理事長

省エネルギーは新エネルギーの開発と並んで温暖化対策の2つの柱を構成している。わが国は産業部門の省エネルギーは世界で冠たる位置を占めているが、民生部門での省エネルギーは十分進んでいるとはいいきれない。この省エネコンテストは、民生部門で個人が中心となる家庭部門と、団体活動として大きな学校部門を対象に行っているものであり、このコンテストによって民生部門の省エネルギーの動きが盛り上がるのが望まれている。

2009年は、わが国では温室効果ガス削減の2020年目標を政府が正式に提案し、世界では年末にコペンハーゲン合意が作成されるなど、温暖化抑制の努力が盛り上がった年だけに、コンテストへの応募でも力の入ったものが目立った。

家庭部門で経済産業大臣賞を受けたのは80歳代の高齢夫婦の省エネルギー活動だが、家庭で行いうる活動を詳細綿密に整理し、その一つ一つを具体的に実践して成果をあげている。若い世代にも大きな参考になるだろう。学校部門で経済産業大臣賞を受けたのは一年生を対象にもったいない運動を展開した小学校だが、週ごとに成果を考えて翌週のやり方を修正していくという学習方式はこどもの勉強としてもよい。またここに限らず応募した多くの学校が省エネルギー活動のデータを年間を通じてきちんと把握しており、省エネルギーの成果が明確にみえているのはよい。今後も、このような計量的な対応を進めることを強く推奨したい。

**審査委員会**

**委員長 茅 陽一**  
東京大学 名誉教授  
財団法人 地球環境産業技術研究機構副理事長

**委員 秋庭 悦子**  
内閣府原子力委員会委員  
NPO法人あすかエネルギーフォーラム 顧問

**神津カンナ**  
作家、エッセイスト

**崎田 裕子**  
ジャーナリスト/環境カウンセラー  
NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット 理事長

**渋澤 文隆**  
信州大学教育学部 教授

**杉山 大志**  
財団法人 電力中央研究所 上席研究員

**ワーキンググループ委員会**

**主査 渋澤 文隆**  
信州大学教育学部 教授

**委員 森 信昭**  
社団法人 日本電気協会 常任理事

**佐々木宏一**  
財団法人 日本エネルギー経済研究所  
地球環境ユニット地球温暖化政策グループリーダー

**大和田順子**  
一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス共同代表

**鈴木佳代子**  
サンケイリビング新聞社編集部 編集委員

**秋元 智子**  
NPO法人 環境ネットワーク埼玉 理事・事務局長